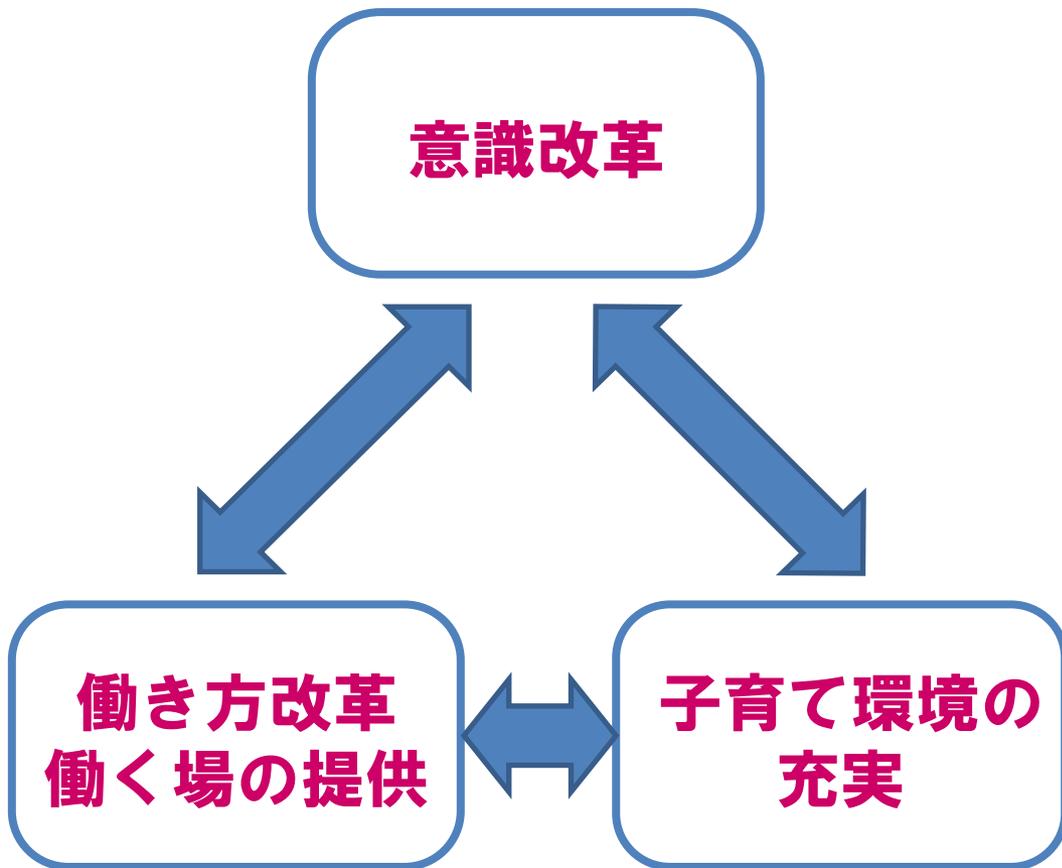


富士山頂も一歩から ～出生率アップと女性活躍～

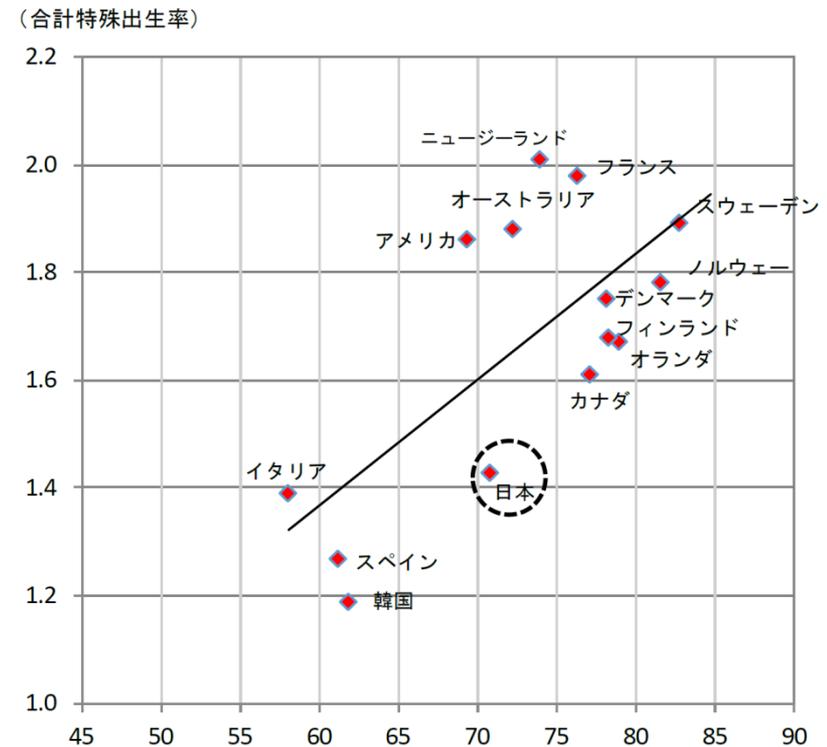
山梨県



二兎を追う三位一体

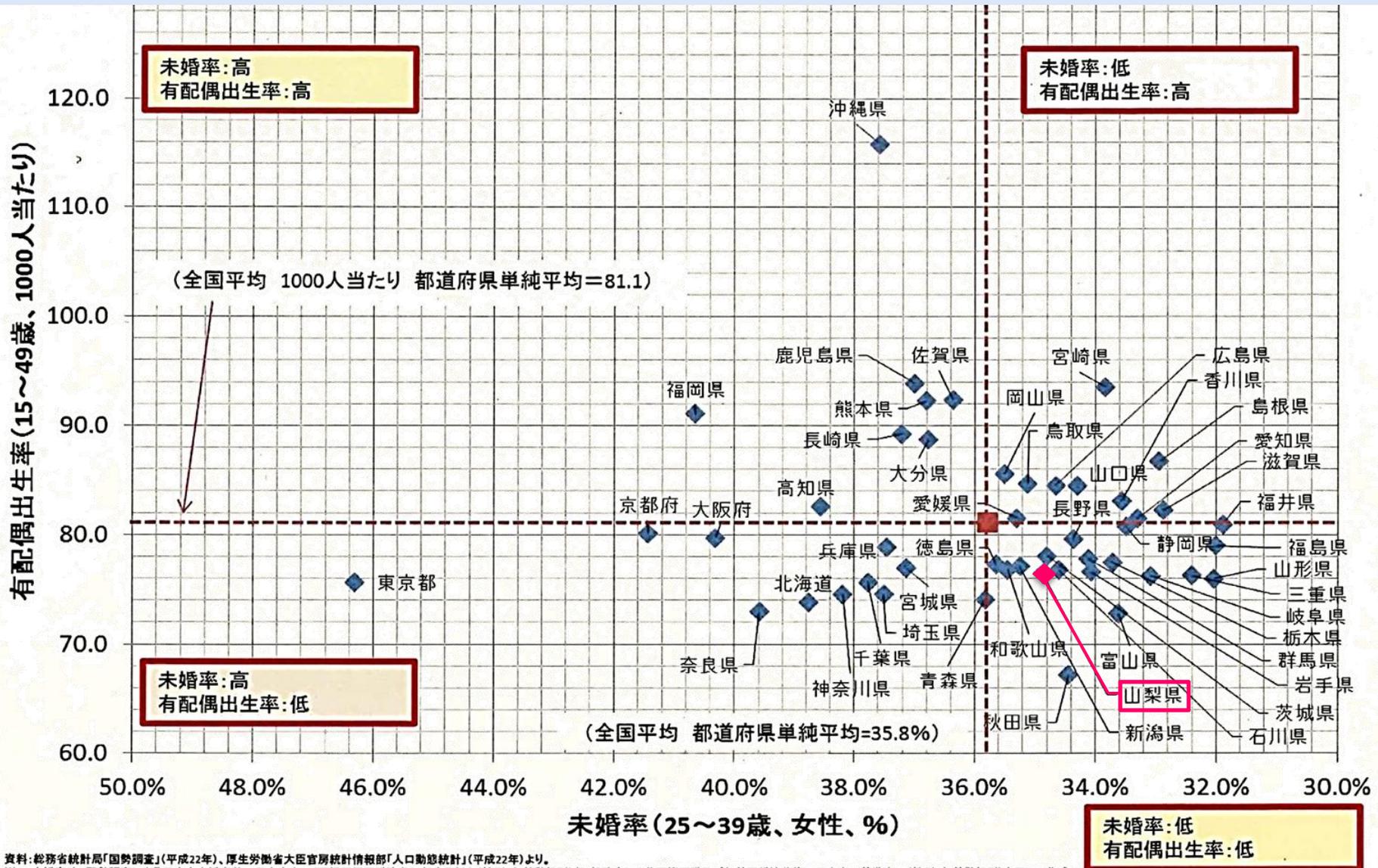


各国の合計特殊出生率と女性就業率(2013年)



(資料出所) OECD Family database (女性就業率 (25~54歳) (%))
 注) カナダは2011年のデータである。

未婚率と有配偶出生率の状況 (平成22(2010)年 都道府県別)



資料:総務省統計局「国勢調査」(平成22年)、厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」(平成22年)より。
 ※1. 未婚率は、国勢調査による日本人未婚者数の日本人人口(配偶関係不詳除)に対する割合(性別・年齢階級別)と、総務省による国籍不詳及び年齢不詳按分後の日本人の基準人口(性別・年齢階級別)を用いて作成。
 ※2. 有配偶出生率は、厚生労働省「人口動態統計」(平成22年)による出生数(母の年齢計)、国勢調査から作成した日本人女性有配偶者数(15~49歳)に対する比率。
 ※3. 日本人女性有配偶者数は、国勢調査による日本人有配偶者数の日本人人口(配偶関係不詳除)に対する割合(性別・年齢階級別)と、日本人の基準人口(性別・年齢階級別)を用いて作成。

各ライフステージで悩みに即した対策をきめ細かく実施

出会い

結婚を希望する男女への支援

- ・結婚を応援する気運の醸成
- ・婚活イベント情報の提供
- ・出会いサポートセンターによる会員制のお見合い仲介

妊娠

妊娠・出産に関する情報提供

- ・不妊を含む妊娠・出産に関する正しい知識の情報提供、相談

出産

産前産後ケアセンターによる支援

実施主体：県と市町村の広域的な連合体
事業内容：宿泊型産後支援 電話相談事業 等

子育て

乳幼児医療費の助成

実施主体：市町村（県が半額補助）
事業内容：〈通院〉5歳未満、〈入院〉就学前 現物給付方式（国保の減額調整）

多子世帯保育料減額制度の拡充

実施主体：市町村（県が半額補助）
事業内容：第2子以降3歳未満児の保育料無料化 年収約640万円未満世帯（第5階層）



不妊（不育）専門相談センター
「ルピナス」



有配偶出生率の低さに着目し、全県で第二子以降の保育料を無料化(市町村との共同事業) 背中を押す効果を期待

第二子以降の保育料を無料化！

二人目をあきらめない

仕事をあきらめない

女性の
活躍

第二子保育料の無料化と
所得要件の大幅な緩和は、
少子化対策と、女性の活躍促進に
大きな効果がある

国の制度の改善を要望

	山梨県 (H28～上乘せ)	国	
			H28拡大
対象年齢	3歳未満の入所児童	入所児童	入所児童
兄弟の要件	要件なし	同時入所児童数で計算 (小学校就学前)	制限なし
所得要件	年収約640万円未満	なし	年収約360万円 未満
第2子	無料	半額	半額
第3子以降	無料	無料	無料

産前産後ケアセンター



【施設紹介】

お母さんがゆったりお過ごしできるよう、自然の光がやさしく射し込み窓からは木々の緑が眺められるように考えられたつくりになっています。石和温泉の源泉を利用して足湯を設置しました。また宿泊利用者の方の浴室にも源泉を利用しておりますのでゆっくり体の疲れもとっていただけます。



相談室

個別にゆっくり相談ができます。母乳のケアも受けられます。



食堂

体にやさしい食事を楽しくお話ししながらどうぞ。食後は庭をながめてゆったりできます。

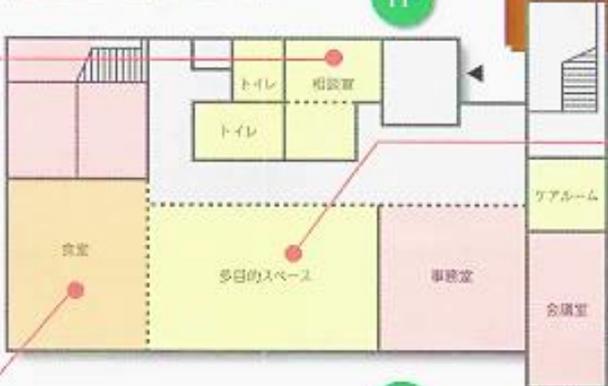


居室(洋室4和室2)

明るく静かな環境です。上のお子さんも宿泊できる広めのお部屋もあります。



1F



多目的スペース

ベビーマッサージや母乳教室などを開催します。日当たりが良く冬でも床暖房で暖かい環境です。



2F



浴室

温泉を利用した広めの浴室です。産後の腰痛や肩こりの解消、母乳分泌にも効果的です。



ホール

中央には常に助産師がいます。宿泊利用のお母さん方が楽しく情報交換出来るスペースです。



【滞在型産後ケア】

宿泊型(山梨県産後ケア事業)

お母さん一人ひとりの体調やニーズにそって助産師がケアいたします。授乳や沐浴、抱き方などの基本的な育児技術もじっくり体得できます。脚底不足で疲労感の強いお母さんには短時間でもぐっすり眠れるよう工夫いたします。また、栄養バランスを考えた産後の体に優しい食事や疲労回復も早まります。4日間程度の滞在中に少しずつゆっくりと慣れて家庭へ戻りましょう。家庭に戻ってからの子育てをお互いにサポートしあえるような、お母さん同士の交流の機会をもちたり、お住まいの地域の子育て支援情報を提供いたします。

●利用料金

1泊2食 6,100円(昼食別途900円)

基本料金 33,900円のところ、27,800円分は山梨県とお住まいの市町村から補助されます。

※利用したい方はお住まいの市町村の母子手帳を交付された窓口で申請が必要です。上のお子さんと一緒に滞在することもできます。(有料)

※日帰り型ケアもあり

電話相談

妊娠中から出産後の体や心のこと、育児(3歳児程度まで)に関する悩みなどについて、24時間365日助産師が対応しますので、お気軽にお電話ください。

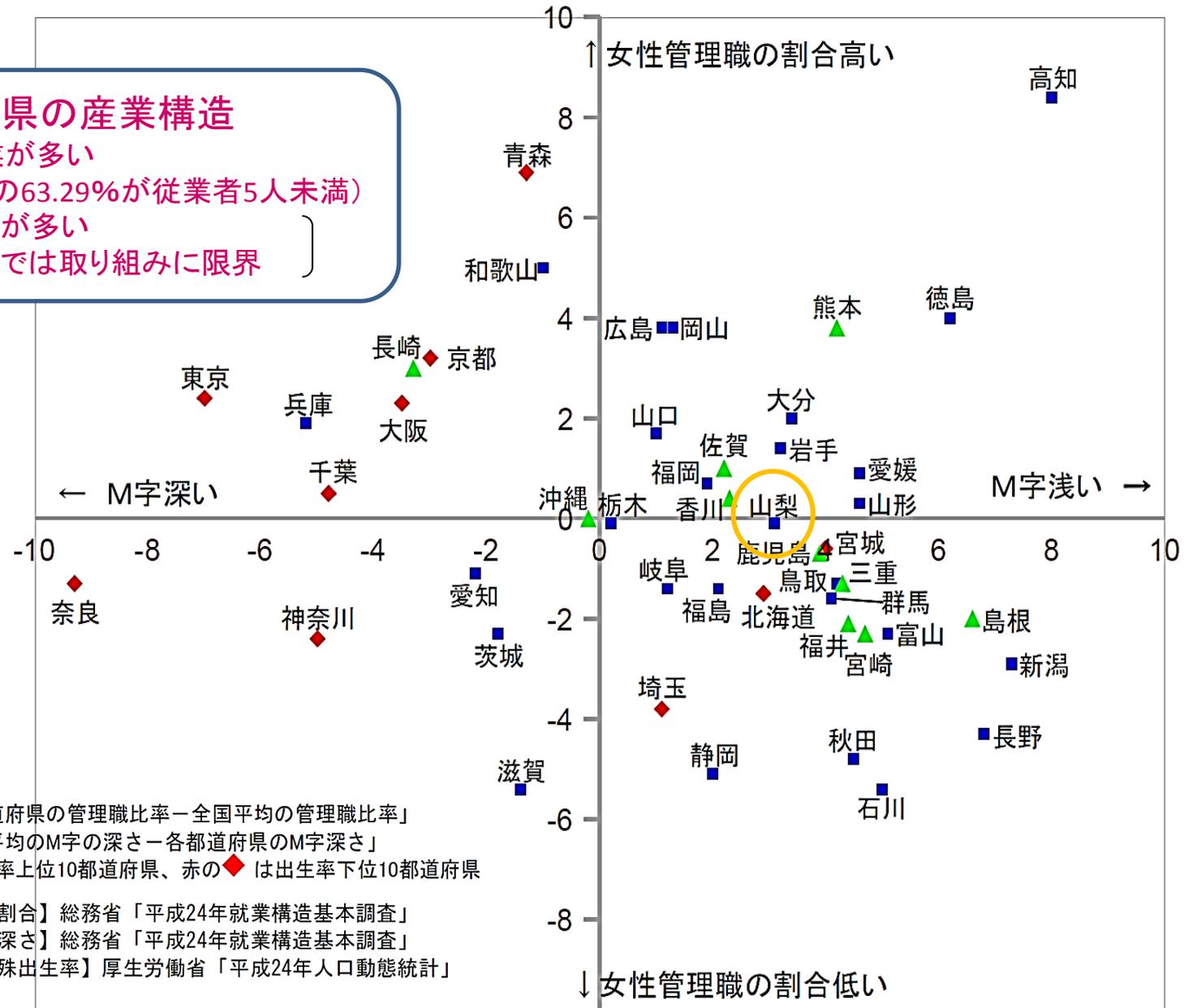
お母さんだけでなく、ご家族の方にもご利用いただけます。

山梨県産前産後電話相談
TEL 055-269-8110

24時間
対応

M字の深さ、女性管理職の割合、合計特殊出生率

*** 山梨県の産業構造**
 零細企業が多い
 (事業所の63.29%が従業者5人未満)
 (・社長が多い
 ・一社では取り組みに限界)

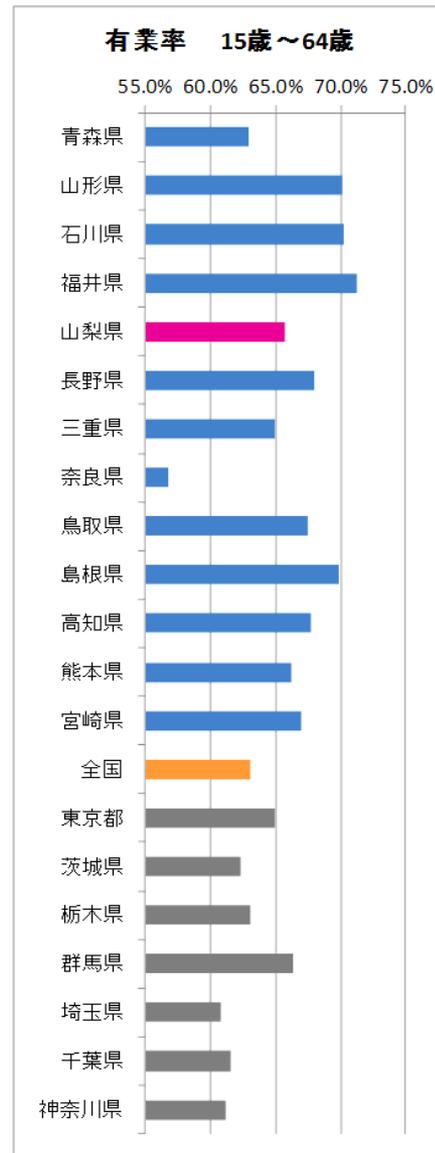


縦軸：「各都道府県の管理職比率－全国平均の管理職比率」
 横軸：「全国平均のM字の深さ－各都道府県のM字深さ」
 緑の▲は出生率上位10都道府県、赤の◆は出生率下位10都道府県

出典：【管理職割合】総務省「平成24年就業構造基本調査」
 【M字の深さ】総務省「平成24年就業構造基本調査」
 【合計特殊出生率】厚生労働省「平成24年人口動態統計」

女性の就業の状況 - 有業率各県比較

		有業率 全体	有業率 15歳～ 64歳	有業率 25歳～ 44歳
ふるさと知事ネットワーク県	青森県	46.9%	63.0%	73.8%
	山形県	49.8%	70.2%	82.0%
	石川県	52.2%	70.3%	79.6%
	福井県	53.0%	71.3%	80.6%
	山梨県	50.4%	65.8%	73.8%
	長野県	51.1%	68.0%	74.8%
	三重県	49.2%	65.0%	72.0%
	奈良県	42.5%	56.8%	64.4%
	鳥取県	49.2%	67.5%	79.0%
	島根県	48.9%	69.8%	81.5%
	高知県	48.5%	67.8%	76.7%
	熊本県	48.7%	66.2%	75.8%
	宮崎県	49.3%	67.0%	75.9%
全国	48.2%	63.1%	70.0%	
(参考) 関東	東京都	52.2%	65.0%	71.3%
	茨城県	47.5%	62.3%	70.3%
	栃木県	48.7%	63.1%	70.4%
	群馬県	50.2%	66.3%	75.5%
	埼玉県	48.1%	60.8%	66.9%
	千葉県	47.9%	61.5%	67.2%
	神奈川県	48.4%	61.2%	64.8%



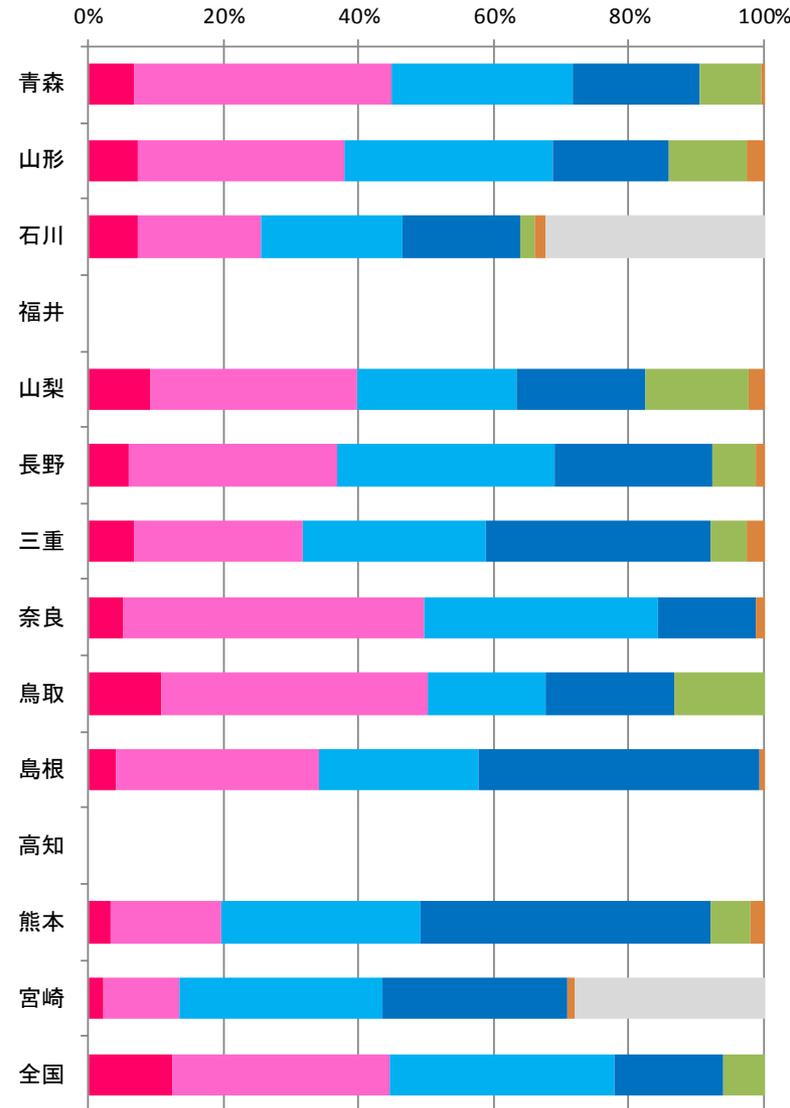
男女の役割に関する意識調査

- 男女の固定的な役割分担を肯定する意識は未だに強い。
- 各地域でばらつきがあり、地道な意識改革は自治体の重要な仕事

「男は仕事、女は家庭」という考え方について

■ 賛成
■ どちらかといえば反対
■ わからない
■ どちらともいえない
■ どちらかといえば賛成
■ 反対
■ 無回答

		賛成傾向			反対傾向			わからない	無回答	どちらともいえない	調査年度
		賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対						
1	青森	6.9	38.0	44.9	26.8	18.7	45.5	9.1	0.4		H27
2	山形	7.4	30.4	37.8	30.9	17.2	48.1	11.6	2.5		H26
3	石川	7.2	18.4	25.6	20.9	17.5	38.4	2.0	1.7	32.3	H27
4	福井										
5	山梨	9.3	30.6	39.9	23.6	18.9	42.5	15.3	2.4		H27
6	長野	6.0	30.9	36.9	32.2	23.2	55.4	6.6	1.1		H26
7	三重	6.8	25.0	31.8	27.1	33.3	60.4	5.3	2.5		H27
8	奈良	5.2	44.5	49.7	34.7	14.4	49.1		1.3		H26
9	鳥取	10.8	39.5	50.3	17.4	19.2	36.6	13.2			H26
10	島根	4.2	29.9	34.1	23.8	41.5	65.3		0.7		H26
11	高知										
12	熊本	3.2	16.5	19.7	29.5	42.7	72.2	5.9	2.1		H26
13	宮崎	2.1	11.3	13.4	30.1	27.5	57.6		1.0	28.0	H27
	全国	12.5	32.1	44.6	33.3	16.1	49.4	6.0	0.0		H26



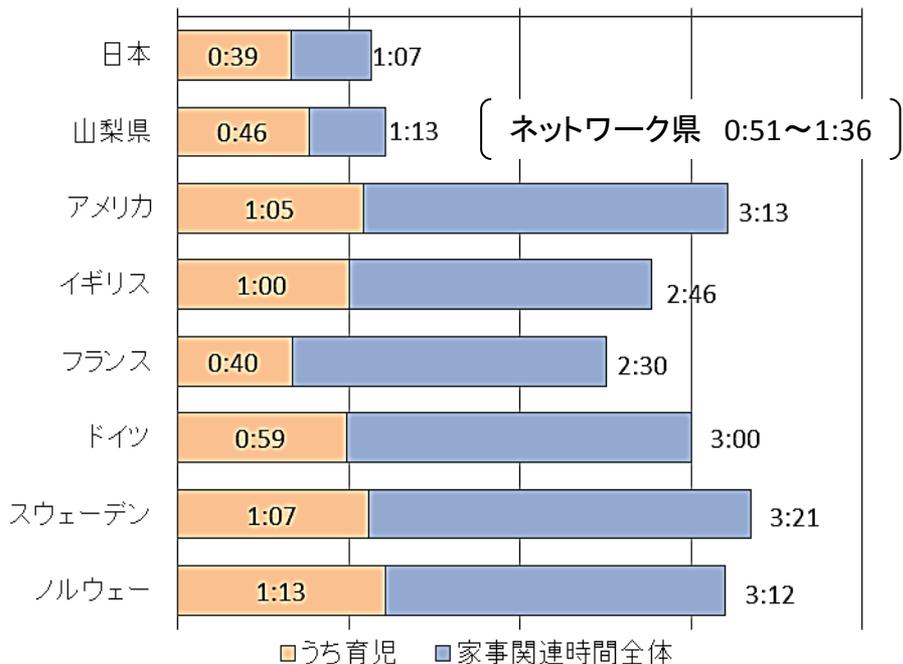
男性の育児・家事への参加

意識データ

- 我が国の男性の家事・育児に費やす時間は国際的に低い水準。
- 男性の育休取得率は2%台。子育て期にある30歳代男性の約6人に1人は週60時間以上就業。こうした働き方に関わる問題が男性の育児参加を妨げる要因になっていると考えられる。

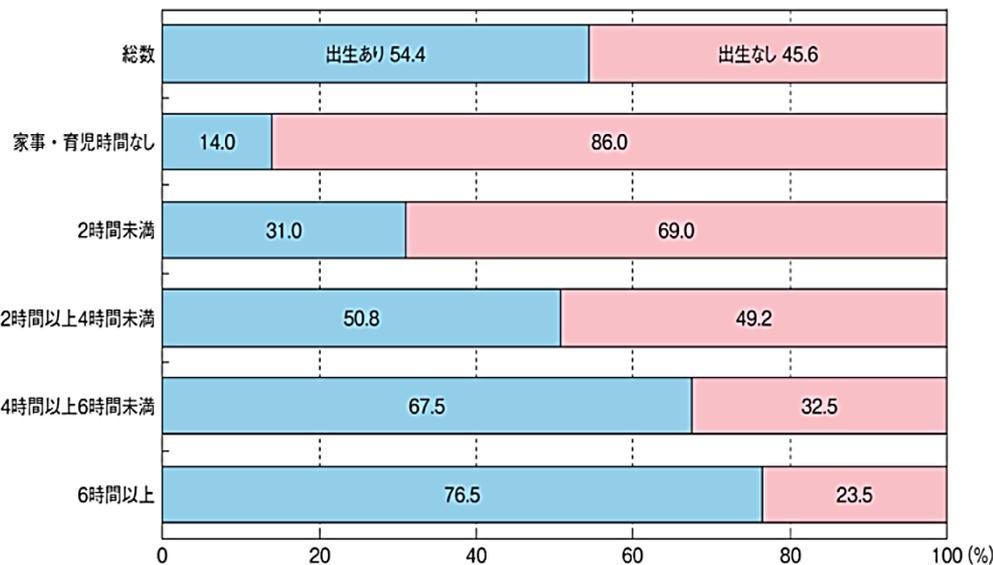
6歳未満児をもつ男性の家事・育児時間

0時00分 1時00分 2時00分 3時00分 4時00分



資料出所: Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. "America Time-Use Survey Summary" (2006)、総務省「社会生活基本調査」(平成23年)

子どもがいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別に見た、この10年間の第2子以降の出生の状況



出典: 厚生労働省「第11回21世紀成年者縦断調査」(調査年月: 2012年11月)より内閣府作成。

注: 1. 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回調査から第11回調査まで双方が回答した夫婦

②第1回調査時に独身で第10回調査までの間に結婚し、結婚後第11回調査まで双方が回答した夫婦

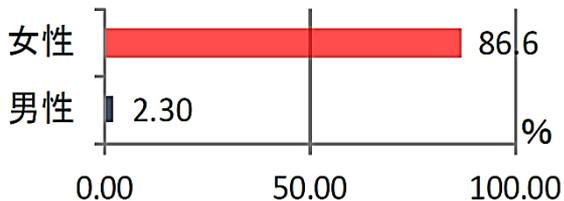
③出生前調査時に、子供1人以上ありの夫婦

2. 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。

3. 10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

4. 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

男女の育休取得率



資料出所: 厚生労働省「雇用均等基本調査」(平成26年度)

バランスをとって一歩ずつ進める

意識改革

- * 職場
- * 家庭内
- * 地道な広報活動、ネットワーク作り

働き方改革 働く場の提供

- * 300人以下の企業にも事業主行動計画を
- * トップ、管理職、従業員 それぞれをまきこむ

子育て環境の充実

ライフステージに応じた
切れ目ない支援

- * 第二子以降の保育料の無料化
- * 産前産後ケアセンター、電話相談